

3 文化をはぐくむ人づくり

現状と課題

- 小中学生を対象としたスクールコンサートの開催や、高校生を対象とした演劇教室の開催など、子どもたちが文化に触れる機会を継続して創出してきた。
- 高齢化による担い手の減少、少子化による文化の後継者不足。
- 平成 29 年度に実施した県政アンケートでは、山形県の文化で誇りに思い、県外にも紹介したいものについて、「特にない」と答えた県民が約 3 割いる。
- ◇県民の文化への理解や関心をより深めていく必要がある。
- ◇障がい者が文化活動や芸術作品を広く発表したり、県民がそれらの活動や作品に接することができる機会が少ない。
- ◇高齢者、障がい者、子育て中の保護者、外国人なども文化活動に参加できるよう、施設のバリアフリー化、多言語化など環境整備が必要。(再掲)
- ◇文化に関する企画やマネジメント能力等を有する専門的な人材の育成が必要

施策の方向性

○県民の文化発信力の向上

- ・「山形学」フォーラム・講座の開催など、郷土の歴史・文化を学び、理解を深める機会の充実
- ・地域における文化を学ぶ取組への支援
- ・県立博物館における本県の文化等の特徴を効果的に伝える魅力ある展示、企画の実施

○子どもの創造性等の育成

- ・子どもたちが地域の郷土芸能や祭りなどの伝統行事に参加、体験する機会の創出
- ・こども郷土芸能芸術まつり、ふるさと芸能のつどいの開催などによる子どもたちが文化活動を発表する機会の創出
- ・美術館、博物館における子ども向け企画の開催
- ・県立博物館における本県の文化の体験型学びの場の提供、主体的かつ探求的な学習の支援
- ・スクールコンサート、演劇教室の実施促進による子どもたちが文化に触れる機会の充実
- ・放課後こども総合プランの推進などによる、子どもたちが文化に親しむ機会の創出
- ・県高等学校総合文化祭の開催による高校生による文化活動の促進

○高齢者及び障がい者の文化活動の促進

- ・山形県健康福祉祭の開催など高齢者が文化活動を通じた社会参加の促進
- ・やまがた障がい者芸術活動推進センターの運営、同センターへの相談窓口の設置などによる障がい者の文化活動への支援
- ・障がい者の文化芸術作品の県内各地域での展覧会や他県との合同作品展の開催による障がい者の文化活動発表機会創出。福祉施設への出前講座による障がい者の文化活動の充実

○文化の担い手の育成及び確保

- ・伝統芸能等の担い手、指導者の育成に向けた取組の促進
- ・山形県総合文化芸術館や置賜文化ホールを活用した文化事業の企画等を行う人材の育成
- ・県内大学等との連携による人材育成
- ・文化施設での公演補助などを行う文化ボランティアの育成
- ・発表の場を提供することによる若手芸術家の発掘・育成

○顕彰

- ・齋藤茂吉文化賞、齋藤茂吉短歌文学賞、齋藤茂吉ジュニア短歌コンクールの開催など

4 文化を活用した社会づくり

現状と課題

- ラグビーワールドカップ日本大会や東京オリンピック・パラリンピック競技大会等は国内外から高い評価を受けている本県文化の魅力を発信する好機。
- ◇大会などを通して国内外との交流をより一層促進し、文化による地域・経済の活性化、観光振興を推進することが必要。特に、本県の特色ある文化をインバウンドに活用していくことが重要。

施策の方向性

○文化の活用による地域活性化

- ・地域の様々な文化を活用して地域活性化に取り組む団体等への支援
- ・アーティスト・イン・レジデンスの促進
- ・文化を通じた都市部との交流の促進
- ・映画、漫画などメディア芸術を活かした地域活性化の促進
- ・山形県総合文化芸術館の立地を活かし、周辺施設等との連携による賑わいづくりを推進

○文化の活用による経済の活性化

- ・2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会等における山形の伝統工芸、食等活用促進
- ・地場産業製品の首都圏での展示会の開催、県産品、県産農産物の海外プロモーション、現地商談会の開催
- ・県内の文化施設で開催される全国・東北規模の大会や、山形交響楽団の東京公演などの機会を活用した本県の文化資源の情報発信の充実

○文化の活用による観光振興

- ・山形の文化資源(美術館・博物館、華道・茶道などの日本の伝統文化、精神文化、食文化、伝統工芸、文化財、景観等)を活用した、山形の文化の魅力を実感できるツアーの造成
- ・県内の文化施設における共通企画展の開催・入場者割引や、その周辺施設及び店舗を含めた連携イベント・商品開発等の実施促進

○文化に関する情報発信及び交流の推進

- ・国内外でのイベントや会議等を通じた山形の文化の国内外への発信
- ・ホームページ、SNS、イベント等による情報発信、海外でのPRの実施
- ・国民文化祭参加団体への支援などによる県内外の文化団体との交流機会の充実(大学生による短歌コンクールの開催など)
- ・文化団体による海外公演への支援等を通じた本県文化の積極的な魅力と交流の拡大

5 推進体制の整備

○産業、観光、福祉、教育など他分野の各種計画に基づく施策との連携

○市町村との定期的な情報交換・意見交換の実施

○人材育成等における大学との連携

○やまがた社会貢献基金の活用による企業、県民との連携